

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。

お問い合わせは 75-1772.

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

昆虫もたくさん載っています

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

今年も月例観察会がスタートです (悦)

怪しい天気予報でしたが、観察日和に恵まれ今年初の観察が始まりました。

今年のメンバー登録は26名で、お休みの人もあり22名、一日参加の方1名で、計23名を2班に分けて実施しました。A班(1,2年生組)、B班(ちょっと上級生組)

A班は、個人的に散策に来て楽しめるよう、歩いている位置と、見所を確認しながら巡りました。

樹木の枝ぶり、落葉にも個性があることに気づき、昆虫と植物の関係、植物間の共生関係など、ちょっぴり森のいきものたちの繋がりを感じて頂きました。



A班:ガイドブック、配布ガイドで確認しながら

「今年度月例観察会」への思い (矢) 写真(黒)

B班は13年間参加されている方を含む古参グループなので、それぞれの得意分野(興味あるもの)を解説してもらいながらの楽しい観察会となりました。

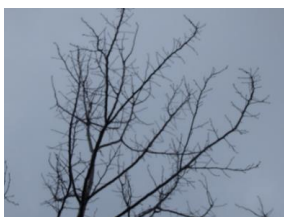
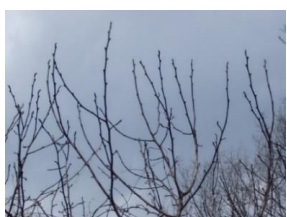
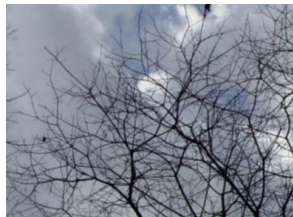
植物(スイカズラ、ホウ、キハダ、トチなど)の薬効について、材の活用について(カマツカ・ソヨゴなど)、ゼンマイの孢子葉のつき方について、ヤマキチョウの食草クワバラについて、コナラの穴の正体について等々。

月例観察会に参加されている方一人一人は、それぞれの、自然に対する思いや考えがあり、それをお互いに学び合う心が必要なのだ改めて感じ入りました。



B班:ガイドブック、配布ガイドで思い思いに

この木 何の木？



答え 左から
コナラ
コブシ
ミズキ
ヤマナラシ
カラマツ
ホオノキ

初めて撮れた雌花・雄花 (桂)

雌雄異株のアブラチャンですが、今年初めて雌花、雄花を撮影することが出来ました。でも今回、十数本チェックしましたが、雌木は2本しか見当たらず、後は雄木でした。秋には実ばかりが目立つのに不思議でした。



雌花



雄花

同じ疑問！ (悦)

種の殻が沢山落ちていいる場所の上に伸びているアブラチャンの枝には花はなく、葉が展開していました。実を付けた株は、次の年、休むのかな？今年、実を付けた株に印をつけ、来年の花を観察しようと思います。

最後の一輪 (ワ)

フサザクラ、最後の一輪を見ることができました。画像を拡大しましたら、ピンクの雄しべの下に、白い雌しべが見えました。雄しべが散り落ちて、子房が膨らみつつある雌しべが見えるようになったのだと思います。

雄しべと雌しべの両方を見ることができて、良い記念になりました。



雄しべ

雌しべ

花見気分！ (悦)

頂上広場でA班、B班揃って昼食。サクラはちょっと早いのが、気持ちよく。



春を体感！！ (洋)

●ダンコウバイ、アブラチャン、クロモジが順序良く咲く香木3種を観察。クロモジの何とも爽やかな香りでリフレッシュ。異株であるアブラチャンに咲く雌花と雄花の違いをはっきり確認できた。

●また、雌雄同株のツノハシバミに咲く雌花はとって可愛らしかった。去年も観察しているはずなのに、ほぼ記憶になく、新たに感動の観察会でした。

4月観察した動物

<昆虫>

●ルリタテハ②112



- ヒオドシチョウ②112
- ミヤマセセリ②117
- ヤママユの繭②119
- クスサンの繭②119
- ウスタビガの繭②120

<鳥>

- ミソソザイ(鳴声)
 - カラ類(鳴声)
 - アオゲラ
 - アオサギ
- <その他>
- アマガエル
 - ヤマアカカエル 卵も

4月観察した花

- ダンコウバイ①66
- アブラチャン①66
- バッコヤナギ①126
- ネコノメソウ①73
- シラカンバ①124
- ヤシャブシ②71
- キブシ①67
- タネツケバナ
- コブシ①68
- ジンヨウイチヤクソウ蕾②79



●ミヤマウグイスカグラ①67



- ツノハシバミ①67
- フサザクラ①66
- ヒナスミレ②70
- ヒメオドリコソウ
- タチツボスミレ①77
- アオイスミレ
- オオイヌノフグリ

新人さんの感想

初めての市民の森 (齊2)

スタッフさんのご案内による生態観察は、とても分かりやすく興味をひく内容でした。午前中は10名以上のお仲間と一緒に賑やかに会話しながら。そして午後は5名ほどのこじんまりしたお仲間と親しく観察できて充実していました。資料は観察する順番に写真付きでわかりやすく、家に帰ってからも振り返るのにとても役立ちました。印象に残ったのは「モミジイチゴ」「ウワミズザクラ」「ミズキ」「アブラチャン」「ホオノキ」などなど沢山あり「GW後にぶらぶら来たいね」と二人で話しています。自然を楽しみ大切にする「森林観察学習部会」のこれまでの積み重ねのご努力に敬意を表するとともに感謝します。



森はただそこにあるだけなのがいいな (露)

木々の葉がつか前、春先の森の楽しみ方を知れたことが嬉しい時間でした。落ち葉を観察したり、蝶の抜け殻を拾ったり。木々が芽吹く前の森は想像力が掻き立てられますね。愛のある森の解説をお聞かして、学びが多くありました。参加されている方それぞれが、どのように森を自分のなかに取り込んでいるのか、垣間見れたことも興味深かったです。詳細に紙に記録する人、写真撮影する人、蝶の抜け殻や葉を集める人、じっと観ながら考えている人。同じ森を歩いているにも人によって見えているもの、興味を持つ対象、興味を持つ深さが違うことも改めて実感しました。



森はただそこにあるだけなのがいいな、と感じました。「さあ、こうやって、このように楽しんでください」なんて言わない、懐の深さがあります。だから森にしていると想像するし、ワクワクするし、心地よい空気が流れているのだと思います。と、気づいたら参加されている方々を観察していましたが笑、多様な楽しみ方や感じる心を私たちに与えてくれる森に、ありがとうと思いました。私はだいたい一人で森で遊んでいるので、気づかないうちに森を観る視点が狭まっているのかも思ったりして、観察会はとても貴重な機会だと感じています。

今年は
苔類
地衣類
にも注目
(悦)



苔類
維管束は持たない。養分(チッソ、リン)は雨水、塵から栄養は光合成で作る



地衣類
維管束は持たない。菌類と藻類(主に緑藻とシアノバクテリア)の複合体。菌類が栄養を雨水、塵から集めて藻類へ、藻類は光合成で栄養を作り菌類へ

市民の森にも春が来た (黒)

漢方についていろいろ知っている人と一緒になり、楽しく教わりながら歩くことができた。すみれの花があちこちに沢山、星が散ったかのように咲いていて、童話の世界に紛れ込んだかのように、やっと市民の森にも春が来た、と実感。木々の新芽も美しく、歩いてよし、座っても気分がよく、森は自然を楽しむ最適な場所。一日楽しませてもらいました。

フデリンドウ タチツボスミレ



漢方の勉強中 (明)

4月の自然観察会では、スイカズラやキハダの説明をさせていただきました。

- スイカズラは茎と葉を乾かしてお茶にすると、体中の水分の滞りを取って巡らせ、むくみを取る「忍冬(ニンドウ)」という漢方の生薬です。採り時は茎が赤くなる冬で、赤くなるのは越冬の為アントシアニンが増えるからです。
- キハダは、「黄蘗(オウバク)」という生薬で、皮とコルク層をはぐと出てくる黄色い部分が、内服すると胃腸薬になり、外用もできて肌荒れや皮膚の傷を治す抗炎症効果があります。

キハダは自分で見つけたことがなかったので、落ちていた実を頼りに木が見つかったのは、感動でした。4月の森は木々が静かに新芽を出していて、色々な見分け方を教わり今月も面白かったです。

沢のキラキラ (悦)

沢の中でキラキラ光っているのは、金雲母。縄文のビーナスはこの山の砂が使われたので、表面がキラキラしているのだそうです。



もう少しで咲くよ (口)

里では桜が満開、市民の森もあと少しで色々な花が咲き出しそうな気配です。枯草に隠れて小さなフデリンドウ、ウリハダカエデは花暖簾、ウワミズザクラはブラシのような花、クロモジは蕾が弾けそうです。去年アブラチャンがたくさん咲きましたが今年は少なめです。



フデリンドウ



ウリカエデ



クロモジ



ウワミズザクラ

雌花を待つシラカンバ

シラカンバは雄花の準備は整っているようですが、雌花はまだ硬い蕾と見受けられました。



雌花

雄花

ゴミの山も (悦)



ホオノキの周りには落葉がゴミの山のように。しかし、片付けなくてもいつの間にか消えます。それは、森には、分解者と言われる土壌生物や、微生物がいて、分解して養分(チッソ、リンなど)にしてくれるのです。

それを、また、植物が吸収して成長していくわけです。

4月に見られるスミレ (悦)

すっきりした タチツボスミレ 尖った葉っぱ ヒナスミレ 毛深い アカネスミレ 赤い茎、葉が後に出る アケボノスミレ



春のもうひとつの楽しみ方 (珠)

下草がまだない地面に溜まった落ち葉や朽ちた実をみて「この近くにはあの木があるぞ」と探すのも面白いと改めて。真っ黒な落ち葉の先には大きく手を広げたような樹形のミズキ、(悦)さんが粗大ゴミみただけで森の腐葉土になるとおっしゃっていた大きな落ち葉の上には堂々たるホオノキ、黒くて香りよい実が落ちていたらキハダがそこに！ などなど。



↑ ホオノキの落ち葉

← キハダの実

桜のように見上げて鑑賞するばかりが春でないなあと。今春はアブラチャンとダンコウバイの見分け方を学びたいと思っていたので、実践で教えていただき大変ためになりました。行燈の油に使うために植樹したのであれば雌株を多く植えるだろうが、今回の観察会でゆずってみると花が簡単に落ちることから雄株が多く。果たしてこの森のアブラチャンは自然株なのか、その謎にまだまだ興味を持っております。

新しい知識 (SU)

観察会の新しいお仲間、新しい知識を授けてもらいました。スイカズラは、お役立ち植物！！ 茎(葉も)がむくみをとる薬草になり、葉はイチモンジチョウの食草になる…夏の花もきれいだし… ウワミズザクラの熟した実は果実酒にすると美味しいらしい！！ 今まで無視していたウワミズザクラの実にも、これからは注目しよう…他にも知識が増えて、楽しい一日でした。